

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	中世技術史			
担当教員	村木 二郎			
授業概要	中世の技術史については、長らく文献史学の立場から語られてきた。しかし、多くの発掘調査により考古資料が蓄積されてきたことによって、考古学の立場からより具体的な姿が見えるようになってきた。本授業では、そういった成果に基づいて、新たな中世技術史を描くこととする。			
教育目標・目的	中世技術史は、考古学や文献史学、民俗学などのさまざまな研究手法を駆使するため、総合的な研究手法を身に付け、さらに毎時間課題を提示してそれについて検討してきた内容を授業で発表するゼミ形式をとることにより、研究発表のスキルを高めることができる。			
成績評価	膨大な課題を毎時間こなすことになるので、授業の発表内容から成績評価をおこなう。			
授業計画	1. 中世技術論 1	9. 金属器 1		
	2. 中世技術論 2	10. 金属器 2		
	3. 中世技術論 3	11. 石製品 1		
	4. 中世技術論 4	12. 石製品 2		
	5. 陶磁器 1	13. 生産工房 1		
	6. 陶磁器 2	14. 生産工房 2		
	7. 漆器・木製品 1	15. 総括		
	8. 漆器・木製品 2			
実施場所	担当教員研究室		使用言語	日本語
前期・後期の別	前期	対象年次 3, 4, 5	単位数	2単位
教科書・参考図書	村木二郎編『時代を作った技－中世の生産革命－』国立歴史民俗博物館、2013年 村木二郎編『中世のモノづくり』朝倉書店、2019年			
備考				